

第3回 池田山住環境セミナー開催

日時：2015年3月15日（日）午前10時～12時

場所：東京デザインセンター8階セミナールーム

テーマ：首都直下型地震への備え方

講師：品川区派遣都市計画アドバイザー 須永和久氏

1月第2回セミナーでは「住環境を守る仕組みについて」と題して以下のお話をいただきました。

1. 現行規制（第一種住居低層専用地域等）の効果と限界
2. 周辺区における建築規制の動向（港区では桜田通り沿いの建物の高さは40m or 50mに規制）
3. 街づくりに関する協定（用途地域等ではカバーできない街づくりのルールを他地区の例で解説）

今回は、30年以内には起こると言われる首都直下型地震への備えについてお話させていただきます。都心西部直下地震、M6.9、冬午後6時、風速15m/秒では、死者数約13,000人、車両事故で400人の死者などとされています。電柱倒壊による通行困難、擁壁の崩壊、電気・水・通信などライフラインの停止、いずれも個人では解決できない地域共通の課題です。それらの被害をどう減災できるか、今から何を想定しておくべきか、専門家の目から見た防災対策をうかがいます。

※参加費は無料ですので、上記の内容にご関心のある方は、どなたでもご参加ください。

池田山のこれからについて一緒に考えましょう！

昨年の夢工房保育所計画の取り下げ以降も、池田山を取りまく問題が次々起こっています。

★遊楽街競艇ボートピア計画

桜田通りをはさんだ五反田遊楽街に、競艇の場外舟券売り場「ボートピア」の計画が出ています。東京都で初めて、唯一のボートピアですので、非常に多くの利用客が集まると想定され、五反田駅の乗降客も、ボートピアに行く方たちで埋まる可能性があります。この計画に反対するかどうか、住民同士で意見交換を行いたいと思います。

★桜田通り舗道陥没

東五反田5丁目交差点に建設中の伊藤忠クレヴィアタワーの前では突然舗道が1mも陥没し、通行していた女性の方がすっぽりはまり込む形で怪我をされました。現在これについては「クレヴィアタワー池田山に反対する会」の皆さまが原因追及をして下さっています。さらにその中で特に問題とされているのは高層マンションによる風害です。旧岩田ビル前の坂道は、以前から冬場は、路面凍結ですべり転倒する危険性がありましたが、強風が増して一層転倒事故が起こりやすくなります。「反対する会」で追及されている内容をお伝えさせていただきます。

池田山住環境協議会では今後も池田山を取りまく諸課題について皆さまとご一緒に考えてゆきます。

池田山住環境協議会

事務局：東京都品川区東五反田5-25-19 tel (03)3445-1004